



あなたにできること



子どもワクチンサポーターになる

金融機関およびクレジットカードから、ご指定の金額を毎月お引き落しさせていただく継続的な支援方法です。クレジットカードでのご寄付はウェブサイトでお申し込みいただけます。



まずは一度寄付をする

クレジットカード、郵便局、コンビニ募金をウェブサイトでお申し込みいただけます。（郵便局、コンビニ募金は払込取扱票を送付させていただきます。）



寄付以外の方法で支援する

- ・募金箱の設置
- ・ペットボトルキャップの回収
- ・使わなくなったもので協力（切手、はがき、金券など）
- ・支援につながる商品の購入、サービスの利用
- ・インターン、ボランティア、イベントへの参加
- ・ソーシャルメディアなどで活動を広める

詳細は下記までお問い合わせください。

みなさまのあたたかい
ご支援をお願いします。



ハローキティはJCVのスペシャルサポーターです。

お問い合わせ

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

☎ 0120-555-895（受付時間：月曜～金曜 9:00～17:00）

✉ info@jcv-jp.org 🌐 www.jcv-jp.org

〒108-0073
東京都港区三田4-1-9 三田ヒルサイドビル8F



世界でワクチンがないために命を
落とす子どもは、20秒に1人。

世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）は、開発途上国へワクチンを贈り、子どもたちの未来を守るために活動する民間の国際支援団体です。（1994年創設）



©1976, 2014 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G552867

ワクチンで助かる
ちいさな命を救いたい



JCVの活動

①贈る

子どもたちへのワクチン支援

皆さまからお預かりしたご寄付を、支援国からの要請にもとづいてワクチンや注射器、ワクチンの保管や運搬に必要な機器に換え、現地の国連機関UNICEFなどと協力して子どもたちへ届けています。



②広める

ワクチン接種の重要性を伝える啓発活動

感染症の脅威やワクチンの重要性を知っていただき、国際支援や寄付文化、ボランティア活動への理解を深めることを目的に、スタッフが講演に何う講師派遣をはじめ、様々なイベントを開催しています。



③未来につなげる

子どもの未来につながるその他の支援

ワクチン支援に限らず、大規模災害発生時などには、被災した子どもたちへの支援活動を行っています。
・ミャンマーサイクロン(2008年)
・東日本大震災(2011-2014年)



感染症の脅威

ワクチン不足は開発途上国においてとても深刻な問題です

子どもたちの命を脅かす感染症は、定期予防接種の普及により、日本での発症例は非常に少なくなりました。しかし、ワクチンを自国で調達できない開発途上国では、子どもの命を奪ったり、深刻な後遺症を残したりするなど、いまだに大きな脅威です。



今でも、ワクチンさえあれば助かるちいさな命が1日4,000人も失われています。

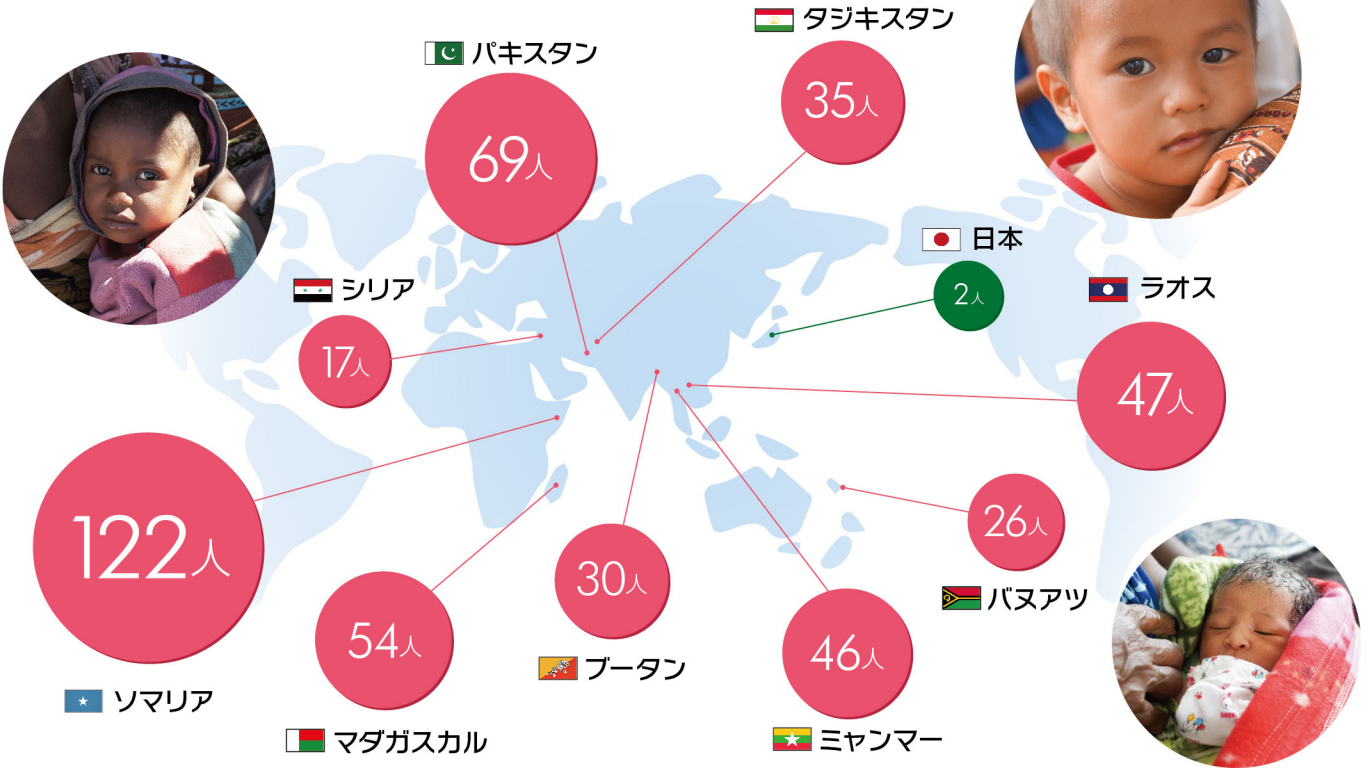
? ワクチンの価格？

ポリオ(小児まひ)	-----	約20円
MMR(はしか、おたふくかぜ、風疹)	-----	約160円
BCG(結核)	-----	約20円
MR(はしか、風疹)	-----	約70円
DPT(ジフテリア、百日咳、破傷風)	-----	約20円
五価(DPT、B型肝炎、Hib)	-----	約130円

※1USD=109.27円/2019年12月時点(金額は為替レートなどの影響により毎年変動します。)

JCVの支援国

世界には、予防可能な感染症などで5歳まで生きられない子どもたちが数多くいます



出生1,000人あたりの5歳未満児死亡数
(出典: UNICEF 「The State of the World's Children 2019」)

ワクチンで変えられる未来があります



? ワクチンを届けるために必要な機器とは？

ワクチンを子どもたちに接種するためには、ワクチンを適切な温度で管理する、コールドチェーンと呼ばれる関連機器も必要です。例えば、ワクチンを低温保管するための保冷库やコールドボックス、ワクチンキャリアー、自動車道路のない場所に届けるためのバイクなどです。





**子どもたちに
プレゼント
できるもの**



1日33円で

子どもたち600人に、
BCGワクチンを
毎年プレゼントできます。



1日100円で

子どもたち1,800人に、
ポリオワクチンを
毎年プレゼントできます。



1日200円で

ラオス少数民族の村の子ども
全員にワクチンを
毎年プレゼントできます。

